

# まつど市民活動サポートセンター 事業計画書（概要版）

NPO 法人まつど NPO 協議会

## 運営における理念

～みんなの力を大きな力へ～ 人と地域がつながる暮らしづくりを広げることで、「総働」による課題解決と新たな価値創造が生まれるまちづくりを実現します。

2020年問題に総称されるように、これから生産年齢人口の減少や経済不況、AI化が進むことによる雇用環境の変動など、かつてないほどの社会変動が起きると予想されます。こうした社会の大きな変動と共に、互助・共助を基盤とした新たな公共を担う市民活動の果たす役割や意義はますます重要になります。特に孤立化による課題が浮き彫りとなる中で、現代に合わせた形で人のつながりを回復するコミュニティ形成の側面、多様化・深刻化する地域課題を市民が主体となり解決に向けて担っていくという側面、それぞれにおいて市民活動のあり方を再考する必要があります。

私たちは市民一人ひとりの力が活かされ、地域の中で役割と出番のある暮らしを実現するために、市民活動が多くの人にとって身近な存在になり、地域課題を解決するための多様なネットワークを広げます。また多岐にわたる活動をワンストップで支援できる存在として、松戸を市民活動で活力のある街にしていきます。

## 「協働によるまちづくり」を推進する公設民営としての役割として

まちづくりの推進にあたって、行政だけではなく、市民・市民活動団体・事業者といったステークホルダーが参画し、協働していくことは社会的要請・必然とも言えますが、今後は「総働」という概念がますます注目されていきます。多様化、深刻化していく地域課題に対応していくためには地域別・テーマ別・属性別といった考えから脱却し、地域全体で課題の共有と検討をしていく仕組みが必要になるという考え方です。こうした取り組みを進めていくためにも、公設民営であるまつど市民活動サポートセンターが果たす役割は非常に大きいと考えます。弊会では民間のネットワークとノウハウを活かしつつ、公的な立場として発信していくことで、協働によるまちづくりを推進します。

## 運営方針

- ①市民活動の間口を広げるための新たな切り口での情報発信
- ②市民活動の受け皿となる組織や団体の組織基盤強化・活性化
- ③市民のつづやきを受け止めるコミュニティ・サポーターの育成、ネットワーキング



[運営方針を表す概念図]

### ①市民活動の間口を広げるための新たな切り口での情報発信

<目標とする成果> 市民活動に関心を持ち、新たに関わる人を増やす

(定量評価) 施設利用者数、新規来場者、市のアンケート調査におけるサポセン認知度  
(アプローチ)

- ・NPOや市民活動について、市民が身近に感じられる機会を創出し、より多くの人に関わるキッカケを作ります。
- ・日常に違和感を持っている人や地域のために実現したいことがある人がいつでも相談でき、次のアクションにつながる窓口を作ります。

### ②市民活動の受け皿となる組織や団体の組織基盤強化・活性化

<目標とする成果> 活動を広げるための専門的なノウハウを身につけ成果を上げる

(定量評価) コミュニティマネジメントやファンドレイジングに取り組む団体数  
(アプローチ)

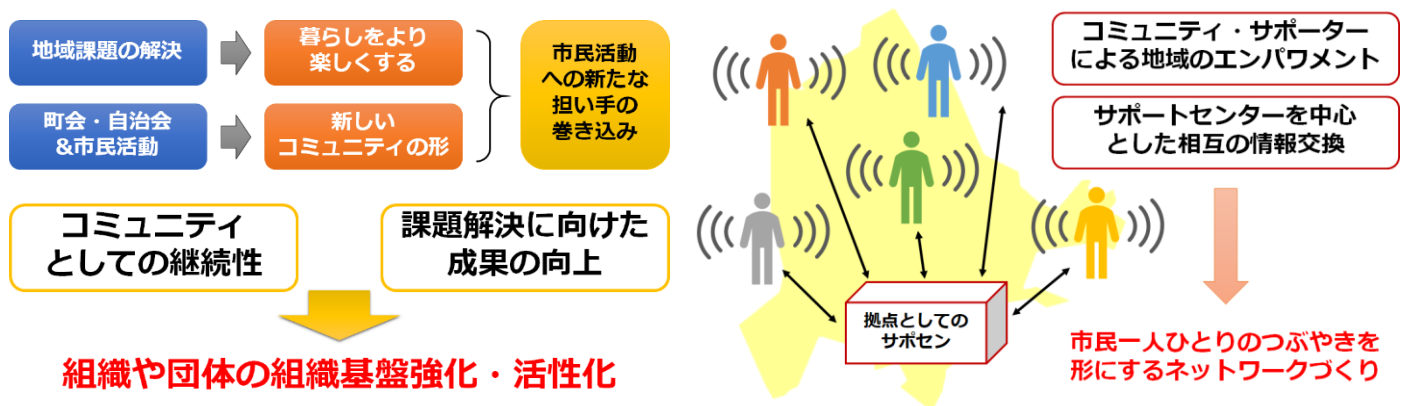
- ・団体のニーズ(困りごと)を把握できる関係性づくりを大切にし、支援者と被支援者の関係だけではなく企画作りから参画を促し、講座や企画に反映していきます。
- ・日本社会全体で起きている社会課題や、それに対する解決方法の最新情報を収集し、地域の団体に伝えることのできるコーディネートを実施します。

### ③市民のつばやきを受け止めるコミュニティ・サポーターの育成、ネットワーキング

<目標とする成果> 市内各地でコミュニティ・サポーターが活躍し、細やかに市民と地域がつながる機会を創出する

(定量評価) 育成されたコミュニティ・サポーターの人数、地域で起きた「コト」の回数  
(アプローチ)

- ・既につながりのあるネットワーク型団体や地域のステークホルダーとなっている人材を巻き込みながら、コミュニティ・サポーターの育成フレームを構築する
- ・センターの講座に絡めることで、育成した人材が活躍する仕組みをつくる
- ・講座で終わるのではなく、その後の先輩後輩の関係が生まれる持続的なコミュニティの形成



地域の中でいざという時に互いに支えあえる関係、ゆるやかなコミュニティを形成することで課題を未然に予防する。また市民活動団体の中における先輩後輩の関係を広げていくことで、市内全体の波及効果を高めていきます。

## 事業の全体像

4年間で見てきた成果の芽を活かすために、PDCA サイクルの考え方を踏まえて、改善点は修正し、成果が上がっている点はさらに発展させる形で、事業ごとに成果指標を設け具体的な企画を立てていきます。

弊会が平成27年から4年間運営をしてきた中で、最も顕著に表れた成果は30代～50代の現役世代の巻き込みです。新たに活動を始める人はもちろんのこと、既存団体とのマッチングにより若手の担い手が入ることで団体が活性化する事例なども見られるようになってきました。サポートセンターの利用率や利用者数の急増もその一端を表していると考えています。事業の提案にあたり、こうした間口を広げる方向性はそのままに、今後は市民活動団体の参画を促していくことでより推進していきたいと思えます。また事業については参加者のフェーズに応じた整理を行い、それぞれの連動性を意識した企画設計を行っていきます。

## <NPO・市民活動の輪を広げるきっかけの連鎖>

### 知る・興味を持つ「きっかけ」を広げる

WEBサイト・Facebook  
メルマガでの情報発信



サポセンニュースレター



市民活動情報コーナー



サポセンライブラリー



知る

### 市民活動に参加する「はじめの一歩」をつくる

まちづくりキーパーソン  
養成講座



夏のボランティア体験講座  
Let's体験!!



まつど地域活躍塾



コーディネーターによる  
相談業務・マッチング



つな  
がる

他団体や行政・企業との連携を  
「コーディネート」する

コミュニティ・  
サポーターの育成と  
ネットワーキング

参加  
する

活動を広げる・強化する  
「ノウハウ」を身につける

まつどみらい会議  
みらい会議プロジェクト



まちづくりサロン企画



みらいフェスタ



協働事業提案制度  
コーディネート業務



学  
ぶ

協働事業・市民活動助成  
サポート講座



持続的な市民社会を実現  
するための実践研究会



コミュニティ  
マネジメント塾



NPO・市民活動よろず講座



## <事業の概要と目標とする指標の観点>

### ①知る・興味を持つ「きっかけ」を広げるための情報発信

- ・サポセンライブラリー…NPO・市民活動に関する専門誌を館内で閲覧できるよう配架する。
- ・サポセン情報コーナー…団体のチラシを始め、ボランティア情報や支援情報などを掲示する。
- ・団体情報 WEB 掲載サービス…サポセンで掲示しているチラシをオンライン上で閲覧できる仕組み。
- ・サポセンホームページ…サポセンの基本情報や主催イベントを中心に随時更新して掲載する。
- ・ニュースレターぽっく…担い手の特集記事を始め、事業レポートやコラムなどを掲載する。
- ・サポセンメールマガジン…事業の告知に加えて、行政や市民活動団体の情報を配信する。
- ・サポセンリーフレット…サポセン存在を知ってもらうために広く配架する。

[指標例] WEB サイトへの訪問者数、ニュースレターの配布拠点数、メールマガジンの登録数など

### ②市民活動に参加する「はじめの一歩」をつくる

- ・まちづくりキーパーソン養成講座…地域に新しい取り組みを生み出したい方向け連続講座。
- ・まつど地域活躍塾…年間を通して地域に関わる活動を網羅的に学び、実地体験も行う。
- ・夏のボランティア体験講座 Let's 体験!!…主に中高生を対象とした地域の次世代育成事業。
- ・日常的な相談コーディネート…ボランティアマッチングから団体立ち上げまで幅広く支援する。

[指標例] 講座などを経て市民活動を始めた人数、団体の立ち上げ数、講座受講生の変化を測るアンケート結果、日常の相談件数など

### ③活動を広げる・強化する「ノウハウ」を身につける

- ・NPO・市民活動よろず講座シリーズ…法人設立や組織基盤づくりなど幅広いテーマのミニ講座。
- ・コミュニティマネジメント塾…市民活動団体の持続的な運営を生み出す組織基盤強化プログラム
- ・協働事業&市民活動助成サポート講座…個別支援により市の制度を活用して発展につなげる。
- ・持続的な市民社会を実現するための実践研究会…全国的な動きや社会課題をテーマとした研究会。

[指標例] 団体のスキルアップの変化を測るアンケート結果、協働事業及び市民活動助成制度への提案数、研究会の結果を広めた人数など

### ④他団体や行政・企業との連携を「コーディネート」する

- ・まつどみらい会議…多様な主体が集まり松戸の地域課題を語り合う未来志向の対話イベント。
- ・みらい会議プロジェクト…みらい会議で生まれたテーマを深く掘り下げ、アクションにつなげる。
- ・まちづくりサロン企画…複数団体や関心のある市民が連携する企画を伴走支援するプログラム。
- ・協働事業提案制度コーディネート…協議の場に同席し、団体と行政担当課の協働を円滑に進める。
- ・みらいフェスタ…市民活動団体の PR を目的として企業との連携により実施する駅前イベント。

[指標例] イベントへの参加者数、交流により生まれたプロジェクト数、協働事業の数など

## <サポートセンターの認知度を高めるための方策>

団体や市民の力を活かす仕組みを構築することでこれまでにない波及効果を生んでいきます。

- ①センター主催の講座やイベントにおける主体的な参画の機会を作る。
- ②市民活動団体が主となり実施する事業との連携を図ることで認知度を高める。
- ③市民活動の入口となるコミュニティ・サポーターの育成及びネットワーク化。

## 法人の概要

弊会は松戸で「地域課題の解決を目指し、より暮らしやすい街づくり」に取り組んでいる NPO・市民活動団体によるネットワーク型の団体です。現在は 50 会員によって構成されており、子育て支援や高齢者の健康づくり、まちづくりや障がいに関わることなど、様々なジャンルの活動をしている人や団体が協力し合いながら運営をしています。



### ● ビジョン | 目指す姿

市民が自らの手で共に地域をつくる、誰もが暮らしやすいまち“まつど”を目指します。

### ● ミッション | 達成すべき課題

#### ・つながりづくり

松戸で活動する NPO・市民活動団体・個人がつながり、活発な情報交換と連携できる場をすることで、それぞれの活動を促進します。

#### ・ひろがりづくり

NPO・市民活動の情報を親しみやすく発信し、より多くの松戸市民にとって身近なものにすることで、担い手の裾野を広げ団体の発展を図ります。

#### ・くらしづくり

深刻化する地域課題に対して多様な NPO・市民活動の力を結集し、地縁組織をはじめ、行政や企業との協働を推進することで、地域の課題解決力を高めます。

### <まつど市民活動サポートセンターの運営体制について>

サポートセンターの運営については、弊会の理事3名がセンター長及び副センター長として就任し、その他に専門的な研修を経たコーディネーターが所属している他、事務スタッフとして経験豊富な人材を有しています。またアドバイザーボードを設置し、多様なジャンルの専門家による第三者評価に取り組むことで透明性の担保とPDCAサイクルの確実な実施を行います。

### <コーディネーターの役割について>

上記の事業計画を実施していく上で、コーディネーターの専門性がとても重要です。弊会には、代表レベルで NPO 法人の立ち上げや運営を担った経験を持ち、かつ法人運営や組織づくり、IT スキルや企画設計など市民活動を支援する上で必要な専門性を持った人材が多数所属しており、利用者や講座受講生に寄り添った支援を提供します。